

収入申告書 [前年の収入・支出]

私は千葉工業大学大学院奨学金を申し込みに当たり、収入に関する状況は以下の通りであることを誓います。

○ 学校名 _____ 大学 _____ 学部・研究科 _____ 学科・専攻 _____

○ 現在の課程： 1. 修士課程 2. 博士後期課程 3. 学部

○ 氏名 _____

○ 学生番号 _____

[各項目1万円未満切り捨て]

1. 前年の収入額		
【証明書類必要】		
	収入項目	収入額
定職 (注1)	定職 1 (本人)	(年額) 万円
	定職 2 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイト (注1)	TA	(年額) 万円
	アルバイト 1	(年額) 万円
	アルバイト 2	(年額) 万円
父母等からの給付額 (注2)		(年額) 万円
奨学金(日本学生支援機構・ 大学院奨学金等) (注3)		(年額) 万円
その他の収入 (利子・配当・預貯金の取崩等)		(年額) 万円
収入額合計 (注4)		(年額) 万円

2. 申込者本人1人にかかる前年の支出額	
【申告のみ：証明書類不要】	
支出項目	支出額
日常生活費 (食費・住居費・光熱費等)	(年額) 万円
授業料	(年額) 万円
通学費 (定期代等)	(年額) 万円
その他の費用 (書籍費・遊興費・課外活動等)	(年額) 万円
支出額合計(注4)	(年額) 万円

記入上の注意

(注1) 定職、アルバイトに関する証明書（源泉徴収票等）を提出してください。なお、TAについては、証明書類は不要です。

※給与所得の支払金額を記入してください。

(注2) 父母からの給付額については、授業料・日常生活費等を合算した金額を計上してください。

(注3) 奨学金は奨学金借用状況調査票と整合してください。

(注4) 「収入額合計」 \geq 「支出額合計」とならない場合は、記入の誤りがないか再度見直してください。

※日本学生支援機構大学院第二種奨学金家計基準
(申請者本人昨年収入536万円以上) に該当する場合は申込できない場合があります。

記入例

年 月 日

収入申告書 [前年の収入・支出]

私は千葉工業大学大学院奨学金を申し込むに当たり、収入に関する状況は以下の通りであることを誓います。

○ 学校名 千葉工業大学 工学 学部・研究科 学科・専攻

○ 現在の課程：①修士課程 ②博士後期課程 ③学部

○ 氏名 工大 一郎

○ 学生番号 _____

[各項目1万円未満切り捨て]

1. 前年の収入額

【証明書類必要】

	収入項目	収入額 (A)
定職 (注1)	定職 1 (本人)	(年額) 万円
	定職 2 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 万円
アルバイト (注2)	TA	(年額) 20 万円
	アルバイト 1	(年額) 50 万円
父母等からの給付額 (注3)	アルバイト 2	(年額) 万円
	○奨学金(学生支援機構・大学院奨学金等)	(年額) 70 万円
その他の収入 (利子・配当・預貯金の取崩等)		(年額) 万円
収入額合計 (注4)	(年額)	230 万円



2. 申込者本人1人にかかる前年の支出額

【申告のみ：証明書類不要】

支出項目	支出額
日常生活費 (食費・住居費・光熱費等)	(年額) 120 万円
授業料	(年額) 90 万円
通学費 (定期代等)	(年額) 10 万円
その他の費用 (書籍費・遊興費・課外活動費等)	(年額) 10 万円
支出額合計 (※)	(年額) 230 万円

記入上の注意

(注1) 定職、アルバイトに関する証明書（源泉徴収票等）を提出してください。なお、TAについては、証明書類は不要です。

※給与所得の支払金額を記入してください。

(注2) 父母からの給付額については、授業料・日常生活費等を合算した金額を計上してください。

(注3) 奨学金は奨学金借用状況調査票と整合してください。

(注4) 「収入額合計」 \geq 「支出額合計」とならない場合は、記入の誤りがないか再度見直してください。

なお、日本学生支援機構大学院第二種奨学金家計基準（申請者本人昨年収入536万円以上）に該当する場合は申込できない場合があります。